

令和7年 中央環境審議会水環境・土壌農薬部会総量削減専門委員会

汚濁負荷削減対策や水環境改善対策の取組状況等について

干潟・藻場の保全・再生と きめこまやかな管理に向けて

2025年3月14日

海辺つくり研究会・理事長 古川恵太



前々回の提言（2015年3月）

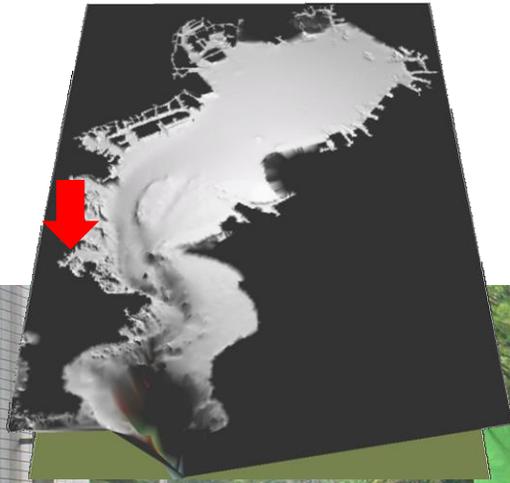
- 海辺と人の関係の再生
（自然を賢く使い、恵みを得ること）
- アマモ場の再生
（水質と生き物の関係を正しく知り、行動すること）
- お台場での海苔作り
（環境の変動に合わせて順応的に管理すること）
- 江戸前ハゼや多摩川干潟の調査
（貧酸素や河口環境など局所の変化に着目すること）

前回の提言（2020年9月）

- 第9次水質総量削減への期待
（環境を基盤とする新たな生活様式へ転換する
ための連携：社会システムとしてのブルーエコノミー）
- 干潟・藻場の保全・再生の推進
（生き物と人の多様な関係修復：ブルーカーボンと共益）
- 地域の実情に応じた、多様な主体の連携
（正しく知り、理解し、行動する社会ネットワーク）
- これらの取組を進めるに当たっての課題
（多様な視座：コミットメントと能力開発）

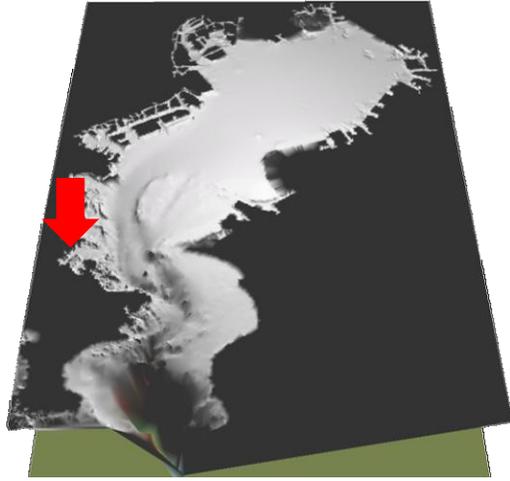
市民によるブルーカーボン生態系の再生

- 金沢八景 - 東京湾アマモ場再生会議

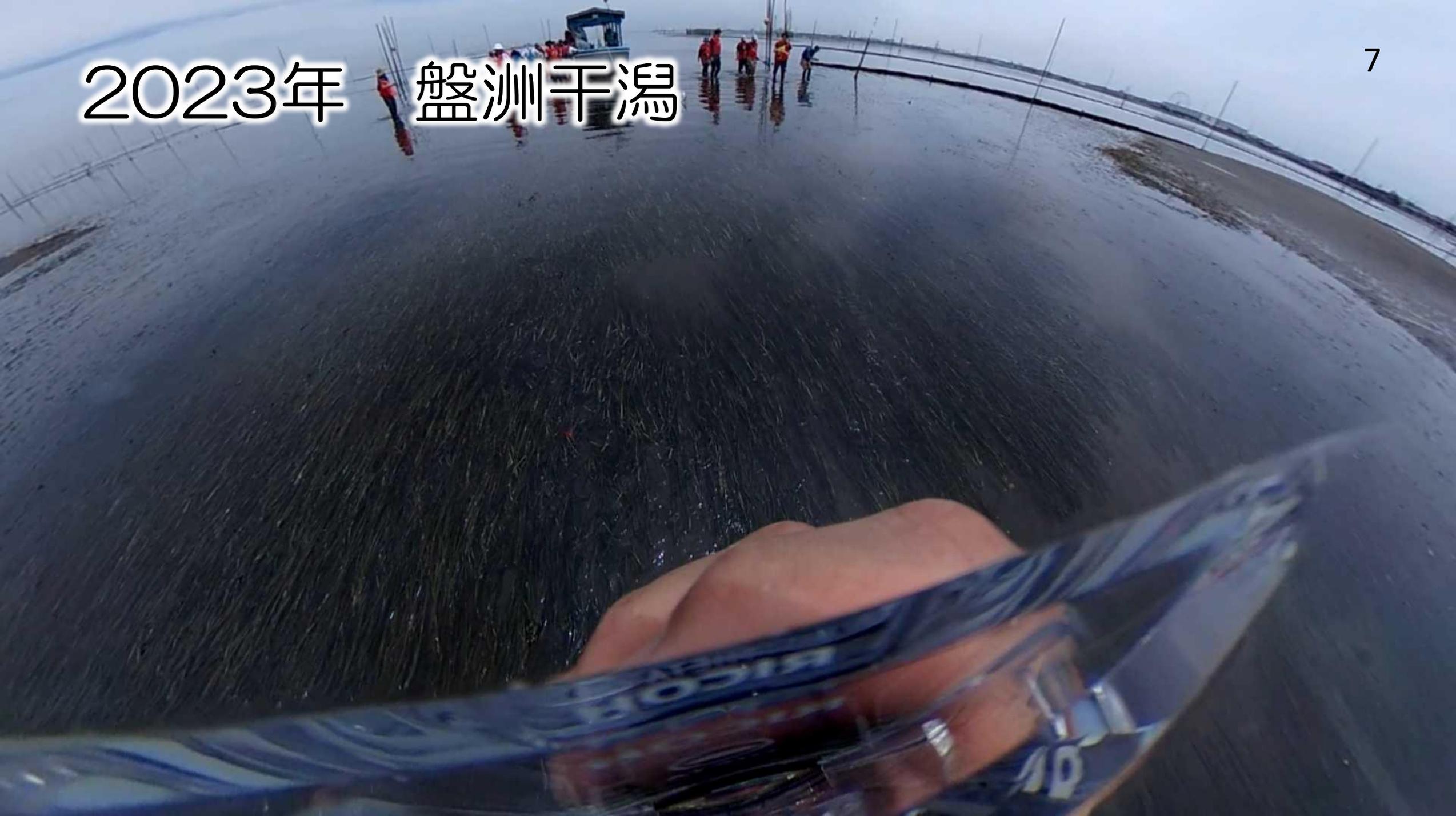


市民によるブルーカーボン生態系の再生

- 金沢八景 - 東京湾アマモ場再生会議



2023年 盤洲干潟



2024年 盤洲干潟

8

海辺（沿岸域）の変化を実感しています

Temperature:11.5°C

2025-01-22 09:11:35

Depth:-3.2m

2025年 横浜市海の公園

9

海辺（沿岸域）の変化を実感しています

Heading:69°

Pitch:-14°

2022年12月 夢ワカメワークショップ¹¹

でも、あきらめてません

Temperature:15.2°C

2024-12-22 08:46:01

Depth:-0.5m

12

Temperature:15.0°C

2024-12-22 08:46:36

Depth:-0.6m



Heading:141°

Pitch:-35°

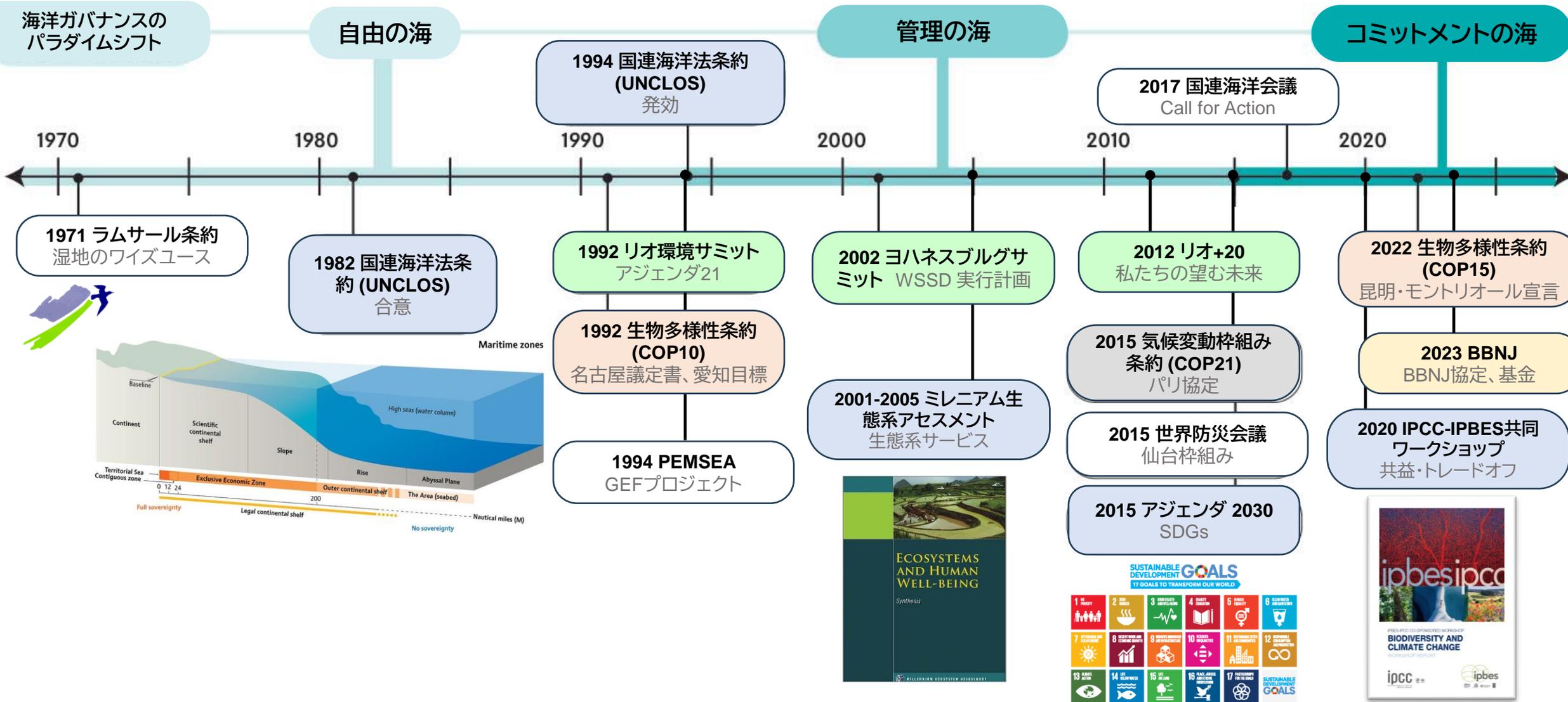
Heading:119°

Pitch:-25°

2025年2月 夢ワカメワークショップ 収穫 13



海辺での行動様式の変化



2020年前後の海辺での行動様式の変化

COVID-19 (2019) → 行動規範の変化、コミットメント、市民参加

ブルーカーボンへの注目

パリ協定 (2015) → 2050年カーボンニュートラル宣言 (2020)、J-ブルークレジット (2020～)
インベントリ報告 (マングローブ林 2023～、海草・海藻 2024～)

生物多様性の衰退と目標の明確化

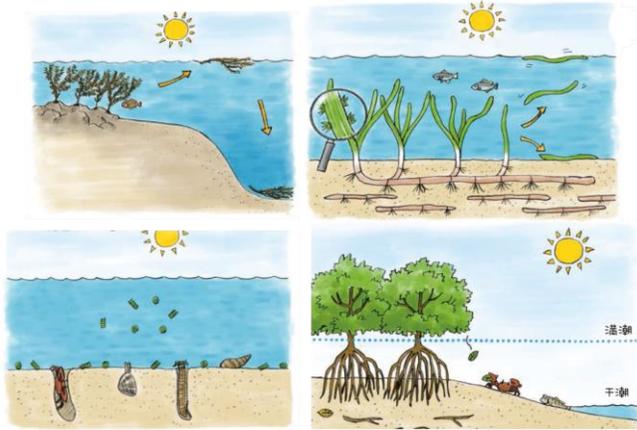
愛知目標 (1992) → 昆明・モンリオール宣言 (2022)、自然共生サイト (2023～)
令和の里海モデルサイト (2022～)、水産多面的機能発揮対策事業 (2016～)

包括化・統合化

アジェンダ2030 (2015) → IPCC-IPBES共同ワークショップ (2020)、BBNJ (2023)
環境研究総合推進費 戦略的研究開発課題 S-23

ブルーカーボンへの注目

パリ協定（2015） → 2050年カーボンニュートラル宣言（2020）、J-ブルークレジット（2020～）
インベントリ報告（マングローブ林 2023～、海草・海藻 2024～）



国交省港湾局



水産庁



ブルーカーボンへの注目

パリ協定（2015） → 2050年カーボンニュートラル宣言（2020）、J-ブルークレジット（2020～）
インベントリ報告（マングローブ林 2023～、海草・海藻 2024～）

再生活動とともに調査活動を実施



ブルーカーボンへの注目

パリ協定 (2015) → 2050年カーボンニュートラル宣言 (2020)、J-ブルークレジット (2020～)
インベントリ報告 (マングローブ林 2023～、海草・海藻 2024～)

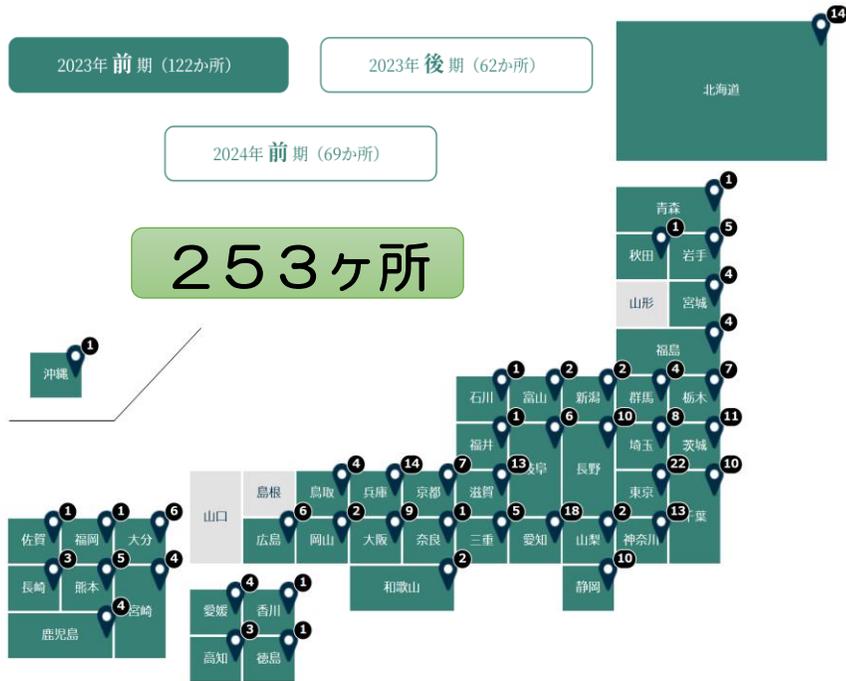
再生活動とともに調査活動を実施



生物多様性の衰退と目標の明確化

愛知目標（1992） → 昆明・モントリオール宣言（2022）、自然共生サイト（2023～）

令和の里海モデルサイト（2022～）、水産多面的機能発揮対策事業（2016～）



環境省 自然共生サイト | 30by30より



環境省 里海ねっとより

全国の活動状況一覧

R05 R04 R03 R02 H31 H30 H29 H28

都道府県	地域協議会	活動の実施状況										合計 (活動組織数)	
		環境・生態系保全					海の安全確保						
		藻場の保全	干潟等の保全	ヨシ帯の保全	サンゴ礁の保全	河川・湖沼の保全	海浜清掃	種苗放流	廃棄物の利活用	監視活動	海難救助訓練		
49地域協議会		302	182	27	17	74	103	38	8	149	49	698	

ひとうみ.jpより

生物多様性の衰退と目標の明確化

愛知目標（1992） → 昆明・モンリオール宣言（2022）、自然共生サイト（2023～）

令和の里海モデルサイト（2022～）、水産多面的機能発揮対策事業（2016～）



アマモ場再生と関係者の関与の拡大

生物多様性の衰退と目標の明確化

愛知目標（1992） → 昆明・モントリオール宣言（2022）、自然共生サイト（2023～）

令和の里海モデルサイト（2022～）、水産多面的機能発揮対策事業（2016～）

1985



2000s



1990s



2010s



アマモ場再生と関係者の関与の拡大

写真提供：里海づくり研究会議・田中文裕氏

生物多様性の衰退と目標の明確化

愛知目標（1992） → 昆明・モントリオール宣言（2022）、自然共生サイト（2023～）

令和の里海モデルサイト（2022～）、水産多面的機能発揮対策事業（2016～）

備前市



日生藻場造成推進協議会
備前市里海・里山ブランド
推進協議会
備前市第2次総合計画
全国アマモサミット2016
in備前 大会宣言

備前市里海・里山ブランド
推進協議会 with ICM

連携・協力

提案

調査
依頼

検証
報告

■決定・実行機関

- ・庁議（備前市）
- ・備前市議会
- ・各種理事会
- ・各種総会

など

■専門委員会

【商工会議所、商工会、観光協会、備前焼陶友会、八塔寺ふるさと村、水産業、農業、林業、大学、有識者、笹川平和財団海洋政策研究所、NPO法人、教育関係者、地域おこし協力隊、行政（県・市）など】

■専門部会

【まちを愛するものがたり、観光戦略、商品開発、ブランド戦略】

包括化・統合化

アジェンダ2030 (2015) → IPCC-IPBES共同ワークショップ (2020) 、BBNJ (2023)

環境研究総合推進費 戦略的研究開発課題 S-23

国家管轄権外区域の生物多様性(BBNJ)の保全のための法的拘束力を持つ文書の作成

海洋遺伝資源 (利益配分を含む)

区域型管理ツール (海洋保護区を含む)

環境影響評価

能力構築及び海洋技術移転

事務局 (新規)

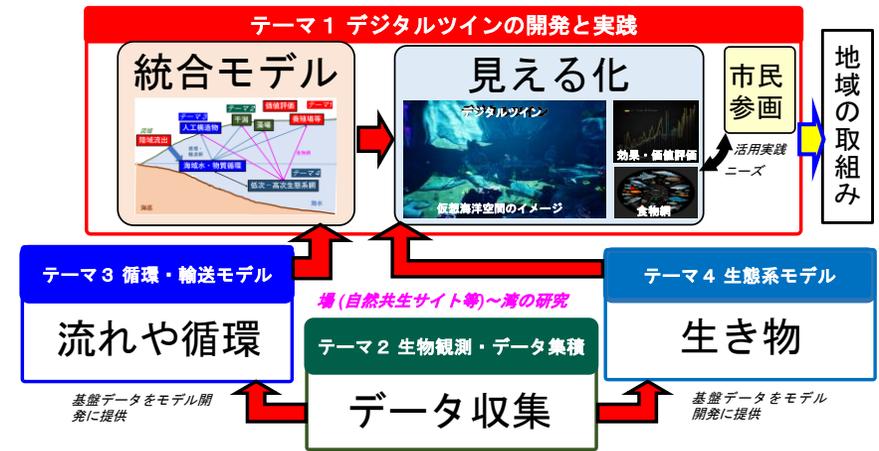
資金メカニズム

紛争解決

遵守確保

- (a)任意信託基金 → 途上国の会議参加を支援するための任意信託基金
- (b)特別基金 → リソースは任意・義務混合の3種類
- (c)地球環境ファシリティ信託基金
 - i. 金銭的利益配分が行われるまで、「先進国である締約国」が毎年年次分担金の50%で支払う
 - ii. 金銭的利益配分による支払い(委員会の勧告を受けて締約国会議が様式決定)
 - iii. 締約国と民間団体からの追加拠出(任意)

第193回海洋フォーラム「国家管轄権外区域における生物多様性 (BBNJ) の重要性と今後の展開について」



「市民参画プラットフォーム」を設け、デジタルツインを市民と共創する。



デジタルツイン開発主対象の大阪湾



包括的プラットフォームがある東京湾

包括化・統合化

アジェンダ2030 (2015) → IPCC-IPBES共同ワークショップ (2020) 、BBNJ (2023)

環境研究総合推進費 戦略的研究開発課題 S-23



Amamo2023宣言 (抄録)
地球環境・海洋環境は危機に面しており、今、行動を起こすことが必要

＜方針＞

- ブルー自然資産と捉え、ブルー・エコノミーを推進

＜配慮＞

- すべてのステークホルダーの協力と尊重
- コミュニティ
- 透明なプロセス
- 長期的な視野

＜要素＞

- 調査研究の継続・深化
- 協働・共創と企業参画

2023年
国際ワークショップ



<https://amamo2023.com/>



包括化・統合化

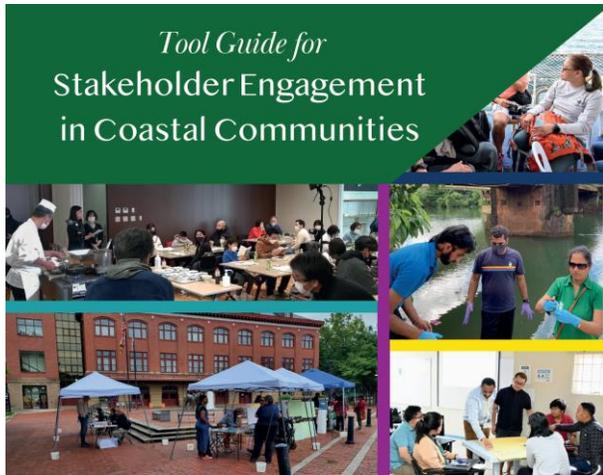
アジェンダ2030（2015） → IPCC-IPBES共同ワークショップ（2020）、BBNJ（2023）
環境研究総合推進費 戦略的研究開発課題 S-23



2024年 海辺の自然再生・高校生サミット

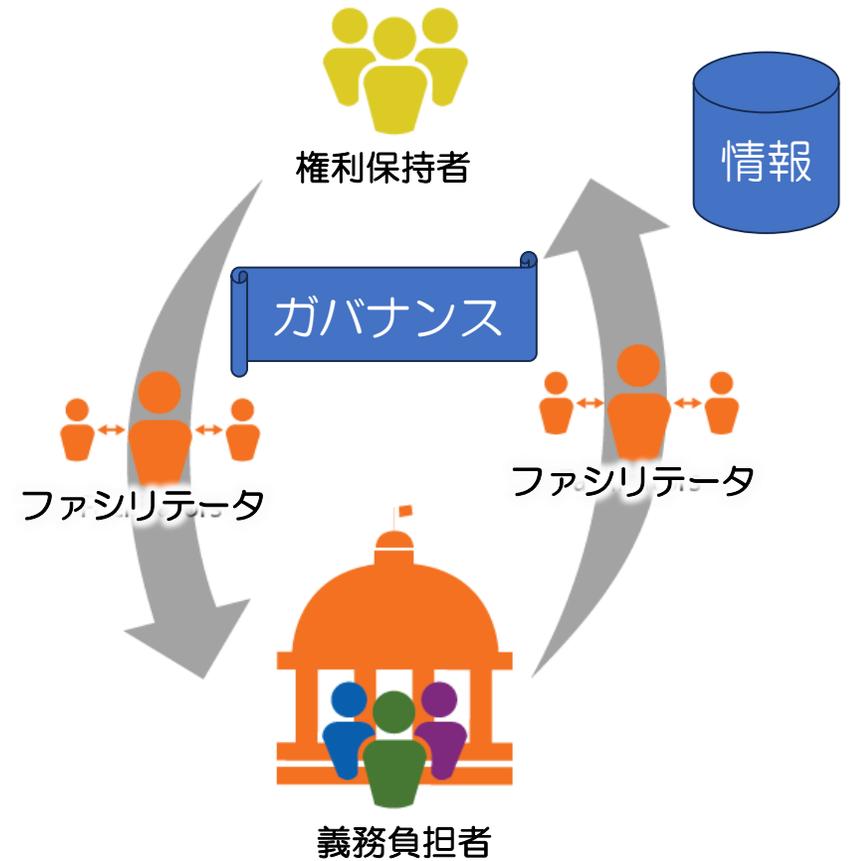
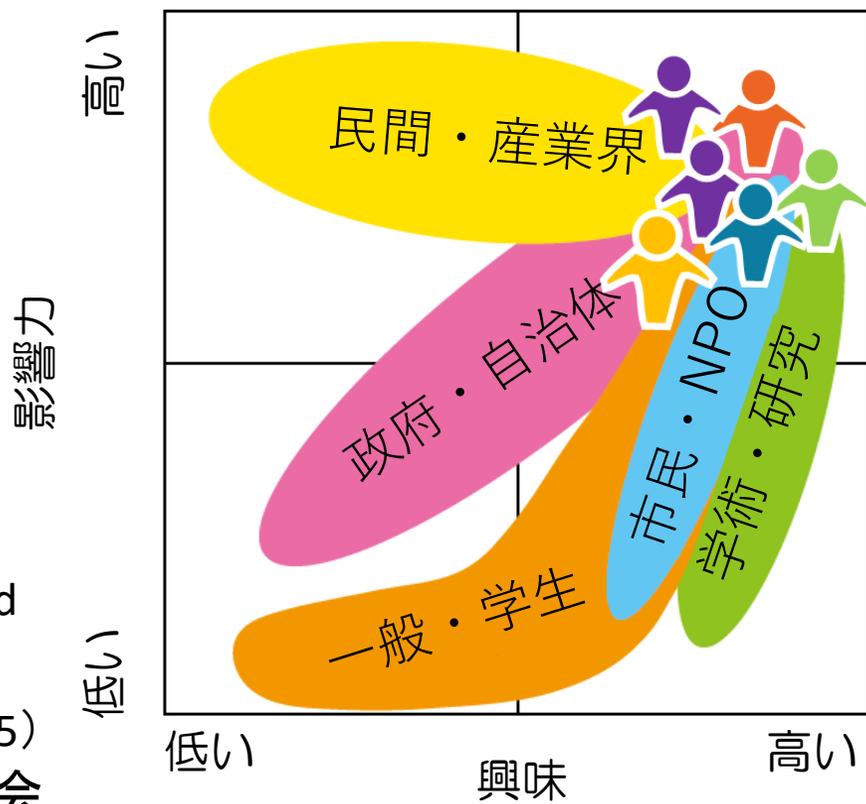
包括化・統合化

アジェンダ2030 (2015) → IPCC-IPBES共同ワークショップ (2020) 、BBNJ (2023)
環境研究総合推進費 戦略的研究開発課題 S-23



COAST Card: the Coastal Ocean Assessment for Sustainability and Transformation

ベルmontフォーラム(2020-2025)
持続可能な社会の実現と社会
変革のための沿岸海洋の評価



今回の提言（2025年3月）

- 第10次水質総量削減への期待
（身近な自然を大切にする新たな生活様式へ転換する
ための順応的でリスク軽減も意識したモニタリングの実装）
- 干潟・藻場（BC生態系）の保全・再生のさらなる推進
（生き物と人の多様な関係修復：ブルーカーボンと共益）
- 地域の実情に応じた、多様な主体の参画のためのシステムづくり
（科学的思考・実践、モニタリングの徹底、市民参画）
- これらの取組を進めるに当たっての課題
（包括化・統合化、ファシリテーターの育成）